

テラヘルツ光を用いた熱活性遅延蛍光分子の分子内振動構造と発光機序の相関に関する研究

竹田, 晴信

<https://hdl.handle.net/2324/4784647>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	竹田 晴信
論文名	テラヘルツ光を用いた熱活性遅延蛍光分子の分子内振動構造と発光機序の相関に関する研究
論文調査委員	主査 九州大学 教授 加藤 和利
	副査 九州大学 教授 林 健司
	副査 九州大学 教授 興 雄司
	副査 九州大学 准教授 豎 直也

論文審査の結果の要旨

本論文は次世代の有機ELの発光材料として有望であるTADF材料についてその分子内振動構造に着目し、テラヘルツ光を用いた分光分析を行うことで遅延蛍光のシステムの解明を行い、さらに金属有機構造体をもちいた分子内振動構造の制御を行っており、これらにより得られた成果は今後の有機発光材料を用いた発光デバイスを開発していく上で大いに資する知見であり、電気電子工学上価値ある業績である。よって博士(工学)の学位に値するものと認める。